

平成23年11月11日

各 位

会 社 名 ラクオリア創薬株式会社
代 表 者 名 代表取締役 長 久 厚
(コード番号：4579)
問 合 せ 先 取締役 常務執行役員 土 屋 進
(TEL. 0569-84-0700)

営業外費用（株式交付費及び為替差損）の計上並びに 平成23年12月期業績予想の修正に関するお知らせ

平成23年12月期第3四半期会計期間（平成23年7月1日から平成23年9月30日）における営業外費用（株式交付費及び為替差損）の計上並びに、平成23年7月20日に公表した平成23年12月期（平成23年1月1日から平成23年12月31日）における当社業績予想の修正に関して、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 営業外費用（株式交付費）の計上

新規上場に伴う資本金の増加に係る登録免許税の発生等により、平成23年12月期第3四半期会計期間（平成23年7月1日から平成23年9月30日）において、営業外費用に株式交付費22,820千円を計上いたします。

2. 営業外費用（為替差損）の計上

為替相場における円高・ドル安の進行により、平成23年12月期第3四半期会計期間（平成23年7月1日から平成23年9月30日）において、営業外費用に為替差損8,464千円を計上いたします。

なお、上記金額は平成23年12月期第3四半期末時点での為替相場により算出したものであり、今後の為替相場により通期の為替差損益の金額は変動いたします。

ご注意：この文章は、当社の平成23年12月期の業績見通しに関して一般に公表するための記者発表文であり、投資勧誘を目的に作成されたものではありません。投資を行われる際には、当社が作成する「新株式発行並びに株式売出届出目論見書（並びに訂正事項分）」を必ずご覧頂いた上で、投資家ご自身で判断していただくようお願いいたします。

3. 平成23年12月期の業績予想数値の修正（平成23年1月1日から平成23年12月31日）

	事業収益	営業損失（△）	経常損失（△）	当期純損失（△）	1株当たり 当期純損失（△）
	百万円	百万円	百万円	百万円	
前回発表予想（A）	1,290 ～ 1,777	△1,910 ～ △1,463	△1,897 ～ △1,451	△1,901 ～ △1,454	△171円66銭 ～ △131円36銭
今回修正予想（B）	1,300	△1,508	△1,501	△1,511	△136円31銭
増減額（B-A）	△477 ～ 9	—	—	—	—
増減率（%）	△36.7 ～ 0.7	—	—	—	—
（ご参考）前期実績 （平成22年12月期）	1,186	△1,345	△1,295	△1,307	△261,094円08銭 （△652円74銭）

（注）1. 当社は子会社がありませんので、連結財務諸表を作成していません。

2. 当社は、平成23年1月28日付で、普通株式1株につき400株の割合で株式分割を行っております。当該株式分割に伴う影響を加味し、遡及修正を行った場合の数値を（ ）内に記載しております。

（修正の理由）

平成23年7月20日に公表した業績予想については、新たな導出候補先との交渉状況について不確実性が高いことから、幅を持たせて開示しております。

事業収益については、本書提出日現在、明治製菓株式会社（現Meiji Seikaファルマ株式会社）との間でジプラシドンの日本における製品化に向けた再許諾契約を、CJ CheilJedang Corporation（韓国）との間で、5-HT₄部分作動薬（RQ-00000010）の製品化に向けた導出契約を締結したこと等により事業収益665百万円を計上しており、さらに、新たな提携による契約一時金が見込まれることから、幅を持たせて開示していた業績予想の範囲内に収まる見込みとなりました。

一方、営業損失、経常損失及び当期純損失については、生産性を担保しながらも、経費全体の抑制を計った結果、事業費用が当初計画値を下回り、業績予想の範囲内においても改善が見られる見込みとなりました。

通期業績予想は、事業収益1,300百万円、営業損失△1,508百万円、経常損失△1,501百万円、当期純損失△1,511百万円に修正いたします。

以 上

ご注意：この文章は、当社の平成23年12月期の業績見通しに関して一般に公表するための記者発表文であり、投資勧誘を目的に作成されたものではありません。投資を行われる際には、当社が作成する「新株式発行並びに株式売出届出目論見書（並びに訂正事項分）」を必ずご覧頂いた上で、投資家ご自身で判断していただくようお願いいたします。